

2020 年度事業報告

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

(公財)経団連国際教育交流財団

1. 公益事業

(1) 日本人大学院生奨学事業（日本人大学院生奨学金）

学業、人物ともに優秀であって広く社会に貢献する意志を持ち、将来、研究者として活躍することが期待される日本人大学院生を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。なお、2020 年度には東京倶楽部奨学生がいなかったため、(一社)東京倶楽部からの助成は受けなかった。

① 2021 年度奨学生の募集・選考

7 大学から推薦のあった 14 名の応募者に対して選考（書類選考：10 月 6 日、面接選考：11 月 10 日）を行い、奨学生 2 名を選抜した。

② 奨学金の支給

2019 年度奨学生 1 名に対して奨学金を支給した。2020 年度奨学生は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により辞退したため、奨学金支給は行わなかった。

(2) 産業リーダー人材育成奨学事業（産業リーダー人材育成奨学金）

大学院卒業後、日本企業において活躍する意志を持つ大学院博士前期課程 1、2 年生を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。

① 2021 年度奨学生の募集・選考

6 大学から推薦のあった 11 名の応募者に対して選考（書類選考：10 月 6 日、面接選考：11 月 10 日）を行い、奨学生 1 名を選抜した。

② 奨学金の支給

2019 年度奨学生 2 名に対して奨学金を支給した。2020 年度奨学生 1 名は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により留学を延期したため、奨学金支給を繰り延べた。

(3) 経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業

将来、わが国のグローバルな事業活動を担い、国際的に活躍する意欲を持つ日本人大学生・大学院生で、海外の大学に留学しようとする者を対象に、経団連主要会員企業からの寄附金も得て奨学金を支給した。

① 奨学金の支給および奨学生への指導・助言

2020 年度奨学生 20 名のうち、年度内に留学を開始した 8 名に対して

奨学金を支給し、残り 12 名については、留学確定後に奨学金を支給することとした。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で留学計画の変更を余儀なくされた 2020 年度奨学生を対象に、5 月 29 日、オンラインで「奨学金の支給方針に関する説明会」を開催、奨学金給与規程を弾力的に適用する方針である旨説明した。また 8 月 24 日には、留学生活や将来の進路に向けての抱負、当面の課題などを共有するための「課題共有会」（オンライン形式）を開催したほか、ソーシャル・ネットワーク等を利用して留学準備の支援や関連情報の提供・助言等を行った。

② 経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業募金の実施

本事業の実施に充てる費用の一部について、経団連主要会員企業を対象に、経団連と共同で寄附金の募集を行った。

③ 2021 年度奨学生の募集・選考

41 大学から応募のあった 245 名の学生について、9～10 月に書類選考を実施して 63 名を書類選考通過としたうえで、11 月 30 日に面接選考会を実施し、20 名を合格とした。

④ 「産学共同ジョブ・フェア」開催への協力

本奨学金を受給して卒業した学生、その他海外留学を経験した学生を対象とした合同就職説明会「経団連グローバルキャリア・ミーティング」の開催に協力する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となったことから、採用と大学教育の未来に関する産学協議会が主催したオンラインでの合同企業説明会「産学共同ジョブ・フェア」（8 月 1 日、2 日）開催に協力した。

2. 会 議

事業計画・同収支予算、事業報告・同収支決算等、当財団の重要事項を審議するため、理事会を 3 回（うち「決議の省略」による開催 1 回）、評議員会を 1 回、それぞれ開催した。

(1) 理事会の開催

① みなし決議に関する理事会（5 月 25 日）

2019 年度（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）事業報告および財務諸表等について、法人法に基づく手続きによる決議の省略（みなし決議）にて、可決した。

② 第22回理事会（6月12日）

理事の職務執行状況に関する報告を行った。

③ 第23回理事会（3月12日）

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）事業計画および収支予算、2021年度資金調達および設備投資の見込み、第10回定時評議員会の招集、奨学金給与規程の弾力的適用に関して審議し、可決した。併せて、理事の職務執行状況に関する報告を行った。

(2) 第9回定時評議員会の開催（6月12日）

2019年度事業報告および附属明細書等、2019年度財務諸表等、財団評議員の選任に関して審議し、可決した。

3. その他

当財団のホームページで、日本人大学院生奨学生ならびに産業リーダー人材育成奨学金奨学生の留学報告を紹介した。

(<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/report.html>)

以上